

〔記入方法〕

建設廃材処理実施計画書

平成 年 月 日作成
平成 年 月 日修正

■ 計画書作成者 会社名
姓、氏名

所在地 建設課 係 (室) 監督員 職 氏名

① 元請負者名
② 下請負者名
③ 下請負者住所
④ 下請負者住所
⑤ 電話番号
⑥ 電話番号
⑦ 現場代理人
⑧ 下請の責任者

記入した月日を記入すること。「修正」は、変更が生じた場合に記入し提出すること。

具体的に産業廃棄物ごとの処分方法を記入すること。例えば、安定型埋立、破砕プラント、焼却など

産業廃棄物を元請負者又は業者がどれだけ運搬したかの運搬量を記入すること。

産業廃棄物を処分したのが元請負者又は業者のいずれが処分したのかその処分量を記入すること。

受注した工事で、工事の一部を下請負者（2社まで）に発注する場合、その者の氏名、住所等を記入すること。（3社以上の下請負者がある場合は、裏面に記入すること。）産業廃棄物の許可業者は記入しないこと。

発生する産業廃棄物の種類	予定発生量 (m ³ 、TON)	産業廃棄物の処分方法	① 産業廃棄物の運搬量 イ 元請運搬量 ロ 業者運搬量	② 産業廃棄物の処分量 イ 元請処分量 ロ 業者処分量	③ 自己有効利用量 (m ³ 、TON)	処理期間	処理単価 (m ³ 、TON 当たり)	備考
①		②	③	④	⑤		⑥	

受注を受けた工事の契約書に記載されている内容と元請負者の氏名等を記入すること。

受注を受けた工事で発生することが予測できる産業廃棄物を種類ごとに記入すること。例えば、アスファルト、コンクリート塊、ベントナイト泥など

工場で発生する産業廃棄物を運搬した者の名称等を記入すること。元請負者が自社で運搬するときは自社と記入すること。

元請負者が自社で運搬するときは、空欄とする。

収集・運搬業者 (上欄の①のイ又はロの該当者名を記入する。)				処分業者 (中間処理又は最終処分) (上欄の②のイ又はロの該当者名を記入する。)			
収集運搬業者名	発生地から処分地まで	処分業者名	県・政令市の許可番号	収集運搬業者の種別	処分方法		
	使用する車両は全部記入すること。(ナンバープレート)						

自社処分の場合は現場から自社処分場までの運搬距離を記入すること。

監督員が現場有効利用として指示する産業廃棄物の利用量を記入すること。

処理単価は、産業廃棄物処分費で処分する単価を記入すること。自社処分は記入しないこと。

工場で発生する産業廃棄物を処分した者の名称等を記入すること。自社処分の場合は自社と記入すること。

元請負者の処分場であれば空欄とする。ただし、処分場の場所の図面等の資料を提出すること。

処分方法は、処分先の許可内容等を記入すること。例えば、安定型埋立、破砕プラント、切削など

④ 自己有効利用の活用方法

() 道路の路盤・路床用に使用
() 建設現場の敷き詰め材に使用
() 建設工事の基礎材に使用
() 土木工事の基礎材に使用
() その他 ()

⑤ 産業廃棄物の委託契約の方法

(1) 収集運搬業者との契約
() 下請負者等との契約
() 収集運搬業者との契約
(2) 処分業者 (中間・最終処分)
() 下請負者等との契約
() 処分業者との契約
(3) その他 ()

⑥ 添付書類

① 産業廃棄物の委託処理に関する契約書の写し (運搬と処分)
② 委託処理の場合は、委託する産業廃棄物処理業者の許可証の写し (収集運搬業者と処分業者)
③ 発生地から処分場までの運搬経路の地図
④ 運搬車両の写真と車検証の写し

※ の欄は、記入しないこと。

(注意) ②及び④の欄には、該当するものに○印を記入すること。

※ (提出部数等)

1 「建設廃材処理実施計画書」は、1部を工事契約を行った各事務所に提出し、作成者が1部保管すること。(添付書類も同じ)

2 同上の計画書は、契約後、2週間以内各事務所 (各課) に提出してください。